岐阜工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	日本事情

科目基礎情報

科目番号	0040	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材	特になし		
担当教員	菅原 崇,村田 竜樹		

到達目標

①日本の文化・社会についての知識を得る。
②日本の文化・社会について対話を通して考えることができる。
③文化・社会に関する調査を行い、その結果を適切にまとめることができる。
④自分のライフコースについて他者と対話し、考えをまとめることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1　周りの日本人に質問をし、情報を集め、報告することができる。	十分な量、質の情報が集められ、得た情報をわかりやすくまとめて伝えることができる。	十分な量、質の情報が集められ、得た情報を過不足なく伝えることができる。	十分な量、質の情報が集められない。また、得た情報を正しく伝えることができない。
評価項目2　資料や調査を通じて知ったこと、考えたことをまとめられる。	知ったこと、考えたことを、図や文章で効果的に表現し、伝えられる。	知ったこと、考えたことを図や文章で表現し、伝えられる。	知ったこと、考えたことを見る人が分かるように表現できない。
評価項目3　知識や自分の考えを他者に伝えられる。	知識や自分の考えを、整理してわかりやすく伝えられる。	知識や自分の考えを、自分なりの言葉で伝えられるが、所々内容の確認が必要なところがある。	知識や自分の考えを伝えようとするが、うまく伝わらず、あきらめてしまう。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	この授業では、日本の文化や社会について、他者との対話を通して考えを深める。前期では、自らの疑問を解消するために調査を行い、その結果をまとめることを通して日本の文化や社会について考える。後期は自らのキャリアやライフコースについて考えることを通して、日本の文化や社会を捉えることを目指す。
授業の進め方・方法	この授業では、対話活動を取り入れるため、積極的に交流することが求められる。自らの疑問や考えを出発点として日本の文化や社会について考えていく。単なる知識の伝達ではなく、自分と社会との関係性を意識することが求められる。授業では、調査活動や対話活動を主な活動とする。授業内容は学生の関心に合わせて適宜変更することがある。
注意点	授業の内容を確実に身につけるため、予習・復習が必須である。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	第１回：オリエンテーション、文化とは何か	「文化」とは何を指すのかを考え、考えをまとめる
		2週	第２回：気になる日本の文化・社会	自らの関心をもとに文化や社会について考えることができる
		3週	第３回：調査の進め方	調査の進め方について知識を深める
		4週	第４回：調査計画作成①	対話を通して自らの関心に合致した調査計画を立てることができる
		5週	第５回：調査計画作成②	対話を通して自らの関心に合致した調査計画を立てることができる
		6週	第６回：調査計画作成③	対話を通して自らの関心に合致した調査計画を立てることができる
		7週	第７回：結果の表現方法①	調査結果を適切にまとめるための表現について知る
		8週	第８回：結果の表現方法②	調査結果を適切にまとめるための表現について知る
	2ndQ	9週	第９回：調査結果のまとめ①	調査結果を適切にまとめることができる
		10週	第１０回：調査結果のまとめ②	調査結果を適切にまとめることができる
		11週	第１１回：発表準備①	聞き手がわかりやすいような発表を考えることができる
		12週	第１２回：発表準備②	聞き手がわかりやすいような発表を考えることができる
		13週	第１３回：発表	聞き手がわかりやすいように発表することができる
		14週	第１４回：調査報告書作成	社会や文化について考えたことをまとめることができる
		15週	期末試験	
		16週	第１５回：授業のふりかえり	授業で考えたことをまとめることができる
後期	3rdQ	1週	第１６回：オリエンテーション、ライフイベント	ライフイベントについて考えを深める
		2週	第１７回：ライフイベント(教育)	対話を通して教育についての考えを深める
		3週	第１８回：ライフイベント(就職)	対話を通して就職についての考えを深める
		4週	第１９回：ライフイベント(老後の生活)	対話を通して老後の生活についての考えを深める
		5週	第２０回：ライフイベント(医療)	対話を通して医療についての考えを深める
		6週	第２１回：人生すごろくづくり①	自らのライフコースについて考えを深める
		7週	第２２回：人生すごろくづくり②	自らのライフコースについて考えを深める
		8週	第２３回：人生すごろくづくり③	自らのライフコースについてまとめることができる

	4thQ	9週	第２４回：人生すごろくづくり④	自らのライフコースについてまとめることができる
		10週	第２５回：人生すごろくづくり⑤	自らのライフコースについてまとめることができる
		11週	第２６回：人生すごろく完成と比較	対話を通してライフコースについて考えを深める
		12週	第２７回：人生すごろくから見る私のライフコース(レポート作成)	自らのライフコースについての考えを文章としてまとめることができる
		13週	第２８回：人生すごろくから見る私のライフコース(レポート作成)	自らのライフコースについての考えを文章としてまとめることができる
		14週	第２９回：人生すごろくから見る私のライフコース(発表)	自らのライフコースについて他者にわかりやすく伝えることができる
		15週	期末試験	
		16週	第３０回：授業のふりかえり	授業で考えたことをまとめることができる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	
				特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	

評価割合

	定期試験（４回）	課題（レポート等）	態度	合計
総合評価割合	200	260	140	600
前期	100	130	70	300
後期	100	130	70	300